

事業計画書

事業名	東海道 みちしるべ in ぬまづ
実施場所	沼津市内 旧東海道ルート沿い及び周辺エリア
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2023年 8月1日 ~ 2024年 3月31日

◎事業概要

※事業の概要を100~200字で簡潔に記載して下さい(事業の紹介などで使用します)。

令和の今もニーズの高い「旧東海道歩き」に訪れる方々への「みちしるべ」となる、沼津宿のもつなしの心として、街並みルート^①の明確化(見える化)。歴史的資源活用機会の創出。

具体例として

- ・「東海道 みちしるべ 沼津宿」の吊し旗作製、街道筋への設置
- ・街道、宿場町...を話題とした、ミニセミナー等の実施
- ・街歩きイベント等の企画、実施時における旗、幟等の活用

沿道自治体、商店、既存団体等と連携した取り組みを目指す

◎目的

※何を目的として実施する事業であるか(事業を行うきっかけ(地域の問題点や課題、社会背景など)や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか)を記載して下さい。

「旧東海道歩き」に不安顔で市内の歩みを進める人組に殆どが少なくない。その一因には、道協の案内石盤はあるものの「ルート指示」の明確さには欠け、既に植え込みの下に隠れがちなプレート等も、散見されることある。

また案内らしき道標が見当たらない沿道エリアも存在する。

それを、沿線商家などでウィンドウや壁、柱へも気軽に掲示可能な吊し旗等の活用で解決すると共に、住民と来訪者の心を繋げるきっかけの醸成に寄与する街の環境作りを目指すものとする。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
8月	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。</p> <p>沼津宿案内吊し旗等の作製(事前見積りに基づく)</p> <p>近隣自治体、商店、団体への説明、掲示の相談、協力要請(まずは、かつまの「本陣」等 所在地区である本町区(上本・下本町・浅間町、幸町(出口町))から着手する。順次掲示開始。</p>
9月～ 秋季 冬季	<p>沿線のイベント(丸子・浅間神社の神社マーケット等)における活用</p> <p>① 街道、宿場町等 沼津宿の歴史資源を活用したセミナーの企画、開催(講師選定、事前打合せ、会場手当て)</p> <p>② 街歩き、自由散策案内等 既存団体の成果物(マップ等)とのコラボ企画、開催(時代による街の変遷加味、まもの姿の活用等検討)</p>
随時	<p>③ 私が管理するFacebookグループには沼津写真(XM-400超)を通じた情報発信期間を通して、住民、来訪者等へのインタビュー、コメント募集等実施し、意見、意識の動向を記録する。</p>
3月	報告

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。			
<ul style="list-style-type: none"> 旧 東海道歩き等ぞ 沼津市を訪れた方々への「みちしるべ」となる案内のより一層の明確化、それによる来訪への動機付け 沼津宿の もまなし の心の表現として住民と来訪者の仲立ち 街道筋及びその周辺に立ち寄り場所・時間を創出する契機とする 潜在的歴史資源や、調査、研究内容の活用機会への転換、等となる 効果が、期待されるものである。 			
成果指標	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。</p> <p>東海道歩きた現地での見える化</p> <p>住民意識の再活性化</p>	指標の 検証方法	<p>※左記指標の検証方法を記載して下さい。</p> <p>吊し旗の提示事例の記録化、景観のSNS発信等への反応調査</p> <p>インタビュー等意見聴取りのまとめ</p>

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

<p>公益性 ・ 必要性</p>	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。 ※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。</p> <p>沼津市制100周年の、大正期からの歴史以前より沼津に遺る歴史資源、街の姿は、沼津の街の‘人の暮らし’そのものと言え、その再認識を産む。とりわけ、現在NHK大河ドラマの主人公 徳川家康 以降の江戸時代における東海道整備と街・宿・驛（暮らし、交流、物流）等を見直しすることは、当市への、より深い魅力発見とより、公益性向上となる。</p>
<p>地域性</p>	<p>※地域の現状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。</p> <p>‘東海道’と言う、日本人誰もが知る歴史の舞台に、数多 名を残す沼津が、有数の宿場町であったことは、 令和の今でも 街道歩きのコーズが退えないことも自明であろう。 又、昨今、沼津城の様相を当時の姿を再現し可視化する取組 も進められていることは、「城下町沼津」の記憶惹起の相乗となる。</p>
<p>先導性</p>	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <p>‘東海道歩き’を目的として来沼する訪問者の方々にも 少くとも ルートの不安を抱かずに、沿線を楽しんで 街なか歩きをして貰える‘ビジュアル・ポイント’を半常設化するならば、 SNS等へ向けたフォトスポットの創設、展開にも繋がる。</p>
<p>発展性 ・ 継続性</p>	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。 ※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などによりどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。</p> <p>歴史資源の活用を図るには、宿場、本陣、見附などの比較的 耳馴染みのあるエリア、例えば、本町区などからコンパクトに始め、 沿道に広げて行くことで、より広い市域への運動へ進む。 吊し旗掲示の継続や新規申し出への受注等により、拡張へ対応へ行く。</p>
<p>実現性 ・ 妥当性</p>	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。 ※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <p>既に、他宿場（例えば、藤沢など）の先行事例も散見される。 更に、当市内には歴史的要素の色濃い団体（沼津女談会、手仕事会） 又、旗竿を取り扱う専門商店も存在し、資料作製も含め実現要素が揃う。 基本的に資料はコンパクトなので、掲示スペース確保も理解を得やすい。 賛同する事業者も既に声が聞かれ、商店立ち寄りのきっかけとなることも予想される。</p>

活動に
対する
熱意

※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。

本事業案は、沼津市市制100周年記念民間提案事業の募集に対しても、実施に値するものと考え、実施案の骨組みはほぼ構想出来ている。ただし、事業規模のスケール感や継続性について考慮も必要であり、一方で開始するに当たっては、機動性も重要と考え、今回は個人申請とした。

立案時の相談先は、郷土史家、商店主、自治体関係者、イベント実施グループ、地域の神社等多岐に渡り、慎重に進めている。

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

かつての沼津城内を避ける形でも、鍵（鉤）型に配された珍しい沼津宿内 東海道のルートは、他宿場と比しても、独特であり、街道筋の地区の独自性も醸成している。その各自治体の成り立ちの特性も 当市の実相ととらえ、この取り組みに参画・頂ける自治体からも参加者を募り、例えば 当活動の委員会組織化検討も視野に入りたいと考える。

又、それぞれのエリアで、共通項や、交歓要素を相互に出し合うことにより、街道を繋ぐ連携的企画の立案、発生を促して行くきっかけにもなる様、吊し旗等の利用を高める。

そして、案内旗の設置箇所を増やして行くことにより、街歩きの目安、並びに安心感の基盤を高め、街なかを人が歩きたくなる対応を進める。

そこに、来沼記念ともなる様な物品へのアイデアも検討を加える。

また時間をかけ、例えば 東海道シンポジウム(NPO法人歴史の道 東海道宿駅会議)等、連動活動誘致の受け皿ともなり得る様な、外部組織(団体)との連帯を行える程度の母体形成を目標に、地域協力者(行政を介)との連携をはかる。

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。

◎特に高い公益性を有することの説明（ハード部門のみ）

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。